中部支部北陸分科会（金沢）との意見交換会

日時	⇒	2016 年 9 月 17 日（土）　13:30～16:40　(途中休憩あり)
会場	⇒	金沢勤労者プラザ
参加者	⇒	NACS 中部支部北陸分科会：　4 名
		石油連盟：　1 名（中田氏）
		環境委員会：　4 名

北陸地方で災害に関する意見交換会を開催するに当たって、北陸地方では雪害等の災害を予測して望んだが、金沢は地震、台風が来ないので危機意識が低い地であるという声もあり、防災意識も低く、持参してもらった防災マップを初めて見たという参加者もいた。ただコンビナートが金沢港に隣接しており、災害時に機能不全になった場合は、石油が来なくなるのではないかと不安である、という意見もあった。

意見交換会を通して、石油業界が災害に備え、さまざまな取り組みをしていること、自治体と石油連盟の災害に関する覚書（災害時の重要施設に係る情報共有に関する覚書）があること、全国的に SS が減少してきていることや、SS 過疎地があること等を初めて知ったようである。特に石川県は覚書未締結県であるため、早急に石川県に覚書締結を望む旨の声が上がった。また防災のためにはガソリン満タンが必要であることに初めて気づき、満タン運動を広めていきたいという意見が相次いだ。そのほか燃料の備蓄（ディーゼルを含む）に関する情報提供を望む声もあった。

最後に、意見交換会に参加した感想として、防災対策を以前より意識するようになったが、まだまだ知らないことが多い。日ごろからアンテナを高くし、情報収集をし、家族や職場などで話し合うことが大切である等、前向きな感想をいただいた。